

## 第8章 壁面緑化の状況

### 8-1 調査の概要

壁面緑化調査対象箇所は幅員 3.6m以上の道路及び河川沿いの道路等から確認できる建物の壁面緑化として、調査を行った。調査対象とする壁面緑化の規模については、最小面積を 4 m<sup>2</sup> (2m×2m規模) とした。また、建物以外の擁壁等の壁面緑化は調査対象外とした。

### 8-2 調査結果

#### 1) 壁面緑化の状況

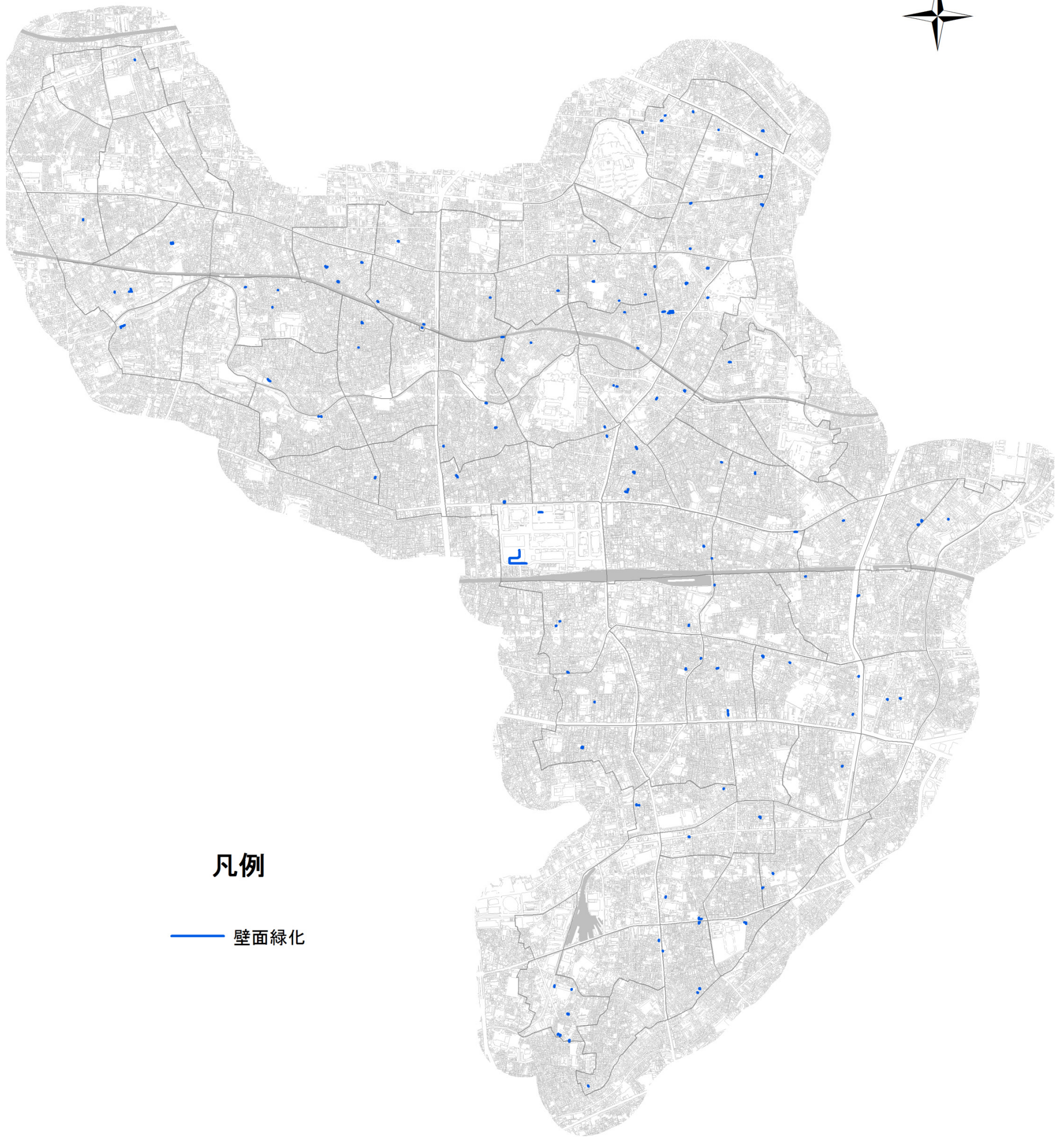
樹種別の壁面緑化の状況を表 8-1 に示す。また、区全体の壁面緑化の分布状況を図 8-1 に示す。区内の幅員 3.6m以上の道路及び河川沿いの道路等から確認できた壁面緑化は 130 箇所、4,832 m<sup>2</sup>であった。1 箇所当たりの平均緑化面積は 37.2 m<sup>2</sup>であった。

樹種別ではナツツタが最も多く、72 箇所、3,009 m<sup>2</sup>であった。壁面緑化のうちナツツタは箇所数の 55%、緑化面積の 62%を占めており、壁面緑化の多くがナツツタであることが分かる。ナツツタは壁面に直接付着するため、支柱などの補助材を設置する必要がなく、ナツツタの 72 箇所のうち 70 箇所が支保材は用いられていなかった。

次いで多いのがヘデラ (セイヨウキヅタ) (17 箇所、796 m<sup>2</sup>)、キヅタ (8 箇所、270 m<sup>2</sup>) で、壁面緑化の樹種ではツタ類が多くなっている。

表 8-1 樹種別の状況

樹種	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	1箇所当たり面積(m <sup>2</sup> )
ナツツタ	72	3,009	41.8
ヘデラ(セイヨウキヅタ)	17	796	46.8
キヅタ	8	270	33.8
ブドウ	6	124	20.7
フジ	7	120	17.1
ヒメイタビ	4	102	25.5
不明	2	76	38.0
オオイタビ	1	48	48.0
ゴーヤ・ヘチマ	1	48	48.0
イタビカズラ	1	47	47.0
オオイタビ、ハゴロモジャスミン	1	36	36.0
ナツツタ、不明	1	30	30.0
ハゴロモジャスミン	2	27	13.5
ヒメイタビ、ナツツタ	1	24	24.0
ヒメイタビ、ヘデラ	1	20	20.0
ツタ	1	15	15.0
ノウゼンカズラ	1	12	12.0
トケイソウ	1	11	11.0
ヘチマ	1	9	9.0
モッコウバラ	1	8	8.0
合計	130	4,832	37.2



### 凡例

— 壁面緑化

1,000 500 0 1,000 メートル

この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号-51

図 8-1 壁面緑化分布図

## 2) 区民活動センター別・町別の壁面緑化の状況

区民活動センター別、町別の壁面緑化の状況を表 8-2、8-3 に示す。

区民活動センター別の箇所数が最も多いのは江古田地域の 22 箇所、次いで鷺宮地域の 19 箇所、南中野地域の 15 箇所であった。緑化面積の最も大きな地域は江古田地域の 782 m<sup>2</sup>で、次いで鷺宮地域の 768 m<sup>2</sup>、南中野地域の 662 m<sup>2</sup>であった。1 箇所当たりの緑化面積が最も大きい地域は昭和地域で 82.3 m<sup>2</sup>であった。10ha 当たり面積では、新井地域が最も多く 67.9 m<sup>2</sup>、次いで江古田地域の 54.7 m<sup>2</sup>、南中野の 44.6 m<sup>2</sup>であった。

町別の箇所数が多いのは、中央及び南台の 12 箇所、野方の 11 箇所であり、緑化面積が大きいのは、中野の 615 m<sup>2</sup>、南台 569 m<sup>2</sup>、松が丘 459 m<sup>2</sup>であった。

表 8-2 区民活動センター別壁面緑化の状況

区民活動センター	地域面積 (ha)	箇所数	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	10ha当たり箇所数	10ha当たり面積 (m <sup>2</sup> )	1箇所当たり面積 (m <sup>2</sup> )
南中野	148.54	15	662	1.0	44.6	44.1
弥生	76.33	4	147	0.5	19.3	36.8
東部	138.17	11	384	0.8	27.8	34.9
鍋横	72.33	5	157	0.7	21.7	31.4
桃園	111.74	8	113	0.7	10.1	14.1
昭和	77.20	4	329	0.5	42.6	82.3
東中野	33.66	3	107	0.9	31.8	35.7
上高田	85.41	3	124	0.4	14.5	41.3
新井	72.50	11	492	1.5	67.9	44.7
野方	128.33	11	409	0.9	31.9	37.2
沼袋	89.03	10	253	1.1	28.4	25.3
江古田	142.94	22	782	1.5	54.7	35.5
大和	74.40	3	85	0.4	11.4	28.3
鷺宮	205.23	19	768	0.9	37.4	40.4
上鷺宮	101.70	1	20	0.1	2.0	20.0
区全体	1,557.51	130	4,832	0.8	31.0	37.2

表 8-3 町別壁面緑化の状況

町	地域面積 (ha)	箇所数	緑化面積 (㎡)	10haあたり 箇所数	10haあたり 面積(㎡)	1箇所あたり 面積(㎡)
南台	82.77	12	569	1.4	68.7	47.4
弥生町	101.09	6	220	0.6	21.8	36.7
本町	107.63	5	172	0.5	16.0	34.4
中央	115.36	12	310	1.0	26.9	25.8
東中野	95.02	6	253	0.6	26.6	42.2
中野	145.66	10	615	0.7	42.2	61.5
上高田	100.54	3	124	0.3	12.3	41.3
新井	79.71	10	252	1.3	31.6	25.2
沼袋	67.25	9	238	1.3	35.4	26.4
松が丘	36.65	10	459	2.7	125.2	45.9
江原町	51.55	9	231	1.7	44.8	25.7
江古田	76.51	4	107	0.5	14.0	26.8
丸山	27.40	1	15	0.4	5.5	15.0
野方	92.76	11	411	1.2	44.3	37.4
大和町	69.93	3	85	0.4	12.2	28.3
若宮	66.25	7	188	1.1	28.4	26.9
白鷺	61.15	6	176	1.0	28.8	29.3
鷺宮	88.50	5	387	0.6	43.7	77.4
上鷺宮	91.76	1	20	0.1	2.2	20.0
区全体	1,557.51	130	4,832	0.8	31.0	37.2

### 3) 用途地域別の壁面緑化の状況

用途地域別の壁面緑化の状況を表 8-4 に示す。

壁面緑化は住居系の用途地域での分布が多く、95 箇所、3,566 m<sup>2</sup>が確認された。商業系用途地域では 32 箇所、1,098 m<sup>2</sup>、工業系用途地域では 3 箇所、168 m<sup>2</sup>であった。

表 8-4 用途地域別壁面緑化の状況

用途地域		建ぺい率	箇所	面積 (m <sup>2</sup> )	1箇所当たり 面積(m <sup>2</sup> )
住居系	第1種低層住居専用地域	40%	0	0	0
	第1種低層住居専用地域	50%	12	583	48.6
	第1種低層住居専用地域	60%	42	1,309	31.2
	第1種低層住居専用地域 計		54	1,892	35.0
	第1種中高層住居専用地域	60%	35	1,485	42.4
	第2種中高層住居専用地域	60%	1	30	30.0
	第1種住居地域	60%	5	159	31.8
住居系			95	3,566	37.5
商業系	近隣商業地域	80%	29	976	33.7
	商業地域	80%	3	122	40.7
商業系			32	1,098	34.3
工業系	準工業地域	60%	0	0	0
	準工業地域(特別工業地区)	60%	3	168	56.0
	準工業地域		3	168	56.0
工業系			3	168	56.0
区全体			130	4,832	37.2

#### 4) 建物構造別の壁面緑化の状況

建物構造別階数別の状況を図 8-2、表 8-5 に示す。

箇所数、面積共に多いのは防火造 2 階以下で 52 箇所、1,668 m<sup>2</sup>であった。次いで、耐火造 3 階以上が 28 箇所、955 m<sup>2</sup>、準耐火造 2 階以下が 18 箇所、656 m<sup>2</sup>であった。壁面緑化の多くが 2 階以下の建物に多いことから、独立住宅に壁面緑化が多いものと思われる。

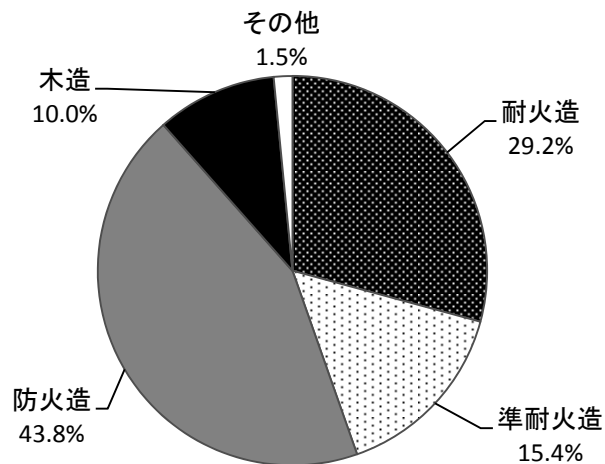


図 8-2 建物構造別の壁面緑化箇所数割合

表 8-5 建物構造別壁面緑化の状況

建物構造	階数	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	1箇所当たり面積(m <sup>2</sup> )
耐火造	2階以下	10	623	62.3
	3階以上	28	955	34.1
準耐火造	2階以下	18	656	36.4
	3階以上	2	26	13.0
防火造	2階以下	52	1,668	32.1
	3階以上	5	136	27.2
木造	2階以下	13	505	38.8
	3階以上	0	0	0
その他	—	2	263	131.5
区全体		130	4,832	37.2

## 5) 建物用途別の壁面緑化の状況

平成 23 年度東京都建物現況データによる建物用途別の壁面緑化の状況を表 8-6 に示す。

箇所、面積ともに多いのが独立住宅で 59 箇所、2,143 m<sup>2</sup>であった。次いで集合住宅が 33 箇所、805 m<sup>2</sup>であることから、壁面緑化の多くは住宅に整備されていることが分かる。住宅系用途以外では、事務所が 6 箇所、368 m<sup>2</sup>、教育施設が 5 箇所 423 m<sup>2</sup>の壁面緑化が確認されており、1 箇所当たり面積は住宅系用途と比較すると大きくなっている。

表 8-6 建物用途別壁面緑化の状況

建物用途	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	1箇所当たり面積(m <sup>2</sup> )
独立住宅	59	2,143	36.3
集合住宅	33	805	24.4
事務所	6	368	61.3
住商併用建物	12	309	25.8
教育施設	5	423	84.6
商業施設	6	137	22.8
専用工場	1	105	105.0
遊興施設	1	78	78.0
倉庫	2	74	37.0
官公庁施設	1	50	50.0
住居併用工場	1	48	48.0
運輸施設	2	44	22.0
不明	1	248	248.0
合計	130	4,832	37.2

また、現地調査において壁面緑化が行われている建物用途を調査しており、その結果を表 8-7 に示す。

住宅以外では事業所が 16 箇所、619 m<sup>2</sup>、学校が 7 箇所、683 m<sup>2</sup>、公共施設が 1 箇所、50 m<sup>2</sup>であった。

表 8-7 現地調査による建物用途別壁面緑化の状況

建物用途	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	1箇所当たり面積(m <sup>2</sup> )
個人住宅	75	2,693	35.9
集合住宅	28	720	25.7
事業所	16	619	38.7
学校	7	683	97.6
公共施設	1	50	50.0
その他(資材置き場)	1	32	32.0
その他	1	28	28.0
寺社境内	1	7	7.0
合計	130	4,832	37.2



### 8-3 壁面緑化の推移

#### 1) 区民活動センター別・町別の経年変化

区民活動センター別の経年変化を表 8-8、町別の経年変化を表 8-9 に示す。

区全体の壁面緑化の経年変化では7箇所、1,749 m<sup>2</sup>の増加であった。平成19年度調査では確認された壁面緑化が、平成28年度調査では多く消失していたが、新たな場所で壁面緑化の整備が多く確認されたことにより増加した。

区民活動センター別では緑化面積が増加したのが12地域、減少したのが3地域であった。最も増加が大きいののは南中野で6箇所、383 m<sup>2</sup>の増加であった。南中野の壁面緑化のほとんどは新規に整備されたもので、消失したものもあるが全体では増加となっている。次いで、緑化面積の増加が大きいののは昭和で、3箇所、311 m<sup>2</sup>の増加であった。

町別の経年変化では、緑化面積の増加が12、減少が7であった。

表 8-8 区民活動センター別の壁面緑化の経年変化

区民活動センター	平成19年度調査		平成28年度調査		変化	
	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )
南中野	9	279	15	662	6	383
弥生	1	24	4	147	3	123
東部	7	231	11	384	4	153
鍋横	1	50	5	157	4	107
桃園	6	66	8	113	2	47
昭和	1	18	4	329	3	311
東中野	4	83	3	107	-1	24
上高田	3	132	3	124	0	-8
新井	10	273	11	492	1	219
野方	15	407	11	409	-4	3
沼袋	22	380	10	253	-12	-127
江古田	19	585	22	782	3	197
大和	2	18	3	85	1	67
鷺宮	20	500	19	768	-1	268
上鷺宮	3	38	1	20	-2	-18
区全体	123	3,083	130	4,832	7	1,749

表 8-9 町別の壁面緑化の経年変化

町名	平成19年度調査		平成28年度調査		変化	
	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )
南台	6	208	12	569	6	361
弥生町	3	71	6	220	3	149
本町	2	74	5	172	3	98
中央	6	182	12	310	6	128
東中野	5	123	6	253	1	130
中野	8	105	10	615	2	510
上高田	3	132	3	124	0	-8
新井	9	261	10	252	1	-9
沼袋	18	324	9	238	-9	-86
松が丘	9	140	10	459	1	319
江原町	8	159.6	9	231	1	71
江古田	6	340.5	4	107	-2	-234
丸山	6	44	1	15	-5	-29
野方	9	362.5	11	411	2	49
大和町	2	18	3	85	1	67
若宮	8	242.8	7	188	-1	-55
白鷺	5	152	6	176	1	24
鷺宮	7	105.25	5	387	-2	282
上鷺宮	3	37.9	1	20	-2	-18
区全体	123	3,083	130	4,832	7	1,749

## 2) 用途地域別の経年変化

用途地域別の壁面緑化の経年変化を表 8-10 に示す。

用途地域別では、第 1 種低層住居専用地域（建ぺい率 60%）において最も多くの壁面緑化の減少が確認され、箇所数は-19 箇所、面積は-110 m<sup>2</sup>減少した。また、壁面緑化が減少した用途地域は、第 1 種低層住居専用地域がほとんどであった。

増加した用途地域では、第 1 種中高層住居専用地域の 12 箇所、879 m<sup>2</sup>と最も多かった。これは区立中野中学校及び明治大学における壁面緑化の整備に伴うものである。

表 8-10 用途地域別の壁面緑化の経年変化

用途地域	建ぺい率	平成19年度調査		平成28年度調査		変化		
		箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	
住居系	第1種低層住居専用地域	40%	2	26	0	0	-2	-26
	第1種低層住居専用地域	50%	13	270	12	583	-1	314
	第1種低層住居専用地域	60%	61	1,419	42	1,309	-19	-110
	第1種低層住居専用地域 計		76	1,714	54	1,892	-22	178
	第1種中高層住居専用地域	60%	23	606	35	1,485	12	879
	第2種中高層住居専用地域	60%	0	0	1	30	1	30
	第1種住居地域	60%	5	130	5	159	0	29
住居系			104	2,450	95	3,566	-9	1,116
商業系	近隣商業地域	80%	18	609	29	976	11	368
	商業地域	80%	1	24	3	122	2	98
商業系			19	633	32	1,098	13	466
工業系	準工業地域	60%	0	0	0	0	0	0
	準工業地域(特別工業地区)	60%	0	0	3	168	3	168
	準工業地域		0	0	3	168	3	168
工業系			0	0	3	168	3	168
区全体			123	3,083	130	4,832	7	1,749

### 3) 建物構造別の経年変化

建物構造別の壁面緑化の経年変化を表 8-11 に示す。

建物構造別の壁面緑化は、増加したものがほとんどであった。そのうち、耐火造 3 階以上における壁面緑化が 11 箇所増加、また面積も 426 m<sup>2</sup>増加と最も多い。次いで面積では、耐火造 2 階以下が 416 m<sup>2</sup>増加、準耐火造 2 階以下が 390 m<sup>2</sup>増加、木造 2 階以下が 368 m<sup>2</sup>増加している。

防火造 2 階以下の建物構造では、-12 箇所の減少と最も多かったが、面積では 62 m<sup>2</sup>増加している。

表 8-11 建物構造別の壁面緑化の経年変化

建物構造	階数	平成19年度調査		平成28年度調査		変化	
		箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )
耐火造	2階以下	8	207	10	623	2	416
	3階以上	17	529	28	955	11	426
準耐火造	2階以下	14	266	18	656	4	390
	3階以上	1	40	2	26	1	-14
防火造	2階以下	64	1,606	52	1,668	-12	62
	3階以上	0	0	5	136	5	136
木造	2階以下	6	137	13	505	7	368
	3階以上	0	0	0	0	0	0
その他	—	13	298	2	263	-11	-35
合計		123	3,083	130	4,832	7	1,749

#### 4) 建物用途別の経年変化

建物用途別の壁面緑化の経年変化を表 8-12 に示す。

建物用途別の面積別で最も増加したのは独立住宅であった。増加箇所は 1 箇所であるが、718 m<sup>2</sup>と規模の大きい壁面緑化が整備されたことによる。次いで、教育施設における壁面緑化が 5 箇所増設され、423 m<sup>2</sup>増加、事務所における壁面緑化は、3 箇所増設され、346 m<sup>2</sup>の面積が増加している。

また平成 28 年度調査では、平成 19 年度には確認されなかった建物用途において壁面緑化が確認された。商業施設においては 6 箇所と最も多くの壁面緑化が確認された。次いで教育施設においても新たに壁面緑化が 5 箇所確認されたことから、住宅以外の建物用途でも緑化が進んでいることが分かる。

表 8-12 建物用途別の壁面緑化の経年変化

建物用途	平成19年度調査		平成28年度調査		変化	
	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )	箇所	面積(m <sup>2</sup> )
独立住宅	58	1,425	59	2,143	1	718
集合住宅	38	925	33	805	-5	-120
住商併用建物	16	476	12	309	-4	-167
事務所	3	22	6	368	3	346
倉庫	2	42	2	74	0	32
住居併用工場	2	52	1	48	-1	-4
厚生施設	2	96	0	0	-2	-96
公園・運動場	1	26	0	0	-1	-26
仮設建物等	1	20	0	0	-1	-20
教育施設	0	0	5	423	5	423
商業施設	0	0	6	137	6	137
専用工場	0	0	1	105	1	105
遊興施設	0	0	1	78	1	78
官公庁施設	0	0	1	50	1	50
運輸施設	0	0	2	44	2	44
不明	0	0	1	248	1	248
合計	123	3,083	130	4,832	7	1,749